

事務事業評価シート

H26(標準事業)

①基本事項系	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19286-1	外国人児童生徒教育支援事業	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	06:すべての子どもの学びを支える教育の推進	科	項 教育研究費
	戦略プロジェクト		目	目 教育研究費

②目的・概要	対象	亀山市内各校の日本語指導の支援を必要とする外国人児童生徒
	目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内に在籍する日本語指導の支援を必要とする外国人児童生徒を対象に、授業のサポートや別室指導の支援、通信や学習用プリントの翻訳等を行う。 日本語がわかりにくい、外国につながる児童生徒の保護者に対して、保護者懇談等の通訳にあたる。

			24年度	25年度	26年度	
③指標	活動	① 名称 市内各校の児童生徒の支援	計画値	5	6	6
		補足 日本語支援の必要な児童生徒の在籍する市内各校巡回訪問する。実績値は巡回校数	実績値	5	6	6
			単位	校	校	校
	② 名称 外国につながる児童・生徒のための進路説明会「学校へ行こう」へ参加説明会「学校へ行こう」にスタッフとして参加し、児童生徒・保護者等の通訳にあたる。実績値は「学校へ行こう」参加人数	計画値	80	80		
		実績値	80	85	76	
		単位	参加人数	参加人数	参加人数	
成果	① 名称 市内各校外国人児童生徒の日本語能力の状況	計画値	15	15	15	
		補足 日本語が全く会話ができない児童生徒の割合	実績値	12.9	27.2	19.5
		単位	%	%	%	

年度計画				年度実績				
				<ul style="list-style-type: none"> 市内6校に6人の巡回相談員が児童生徒の支援のために学校を訪問した。 ポルトガル語、スペイン語、タガログ語・英語・中国語を母国語とする児童生徒の支援にあたった。 外国につながる児童・生徒のための進路説明会「学校へ行こう」へ参加し、児童生徒・保護者等の通訳にあたった。 				
④事業の計画・実績	事業費	計画額		予算額		決算額		
		事業費		3,422	3,108	人件費	総人件費 ①	370
		国庫支出金					一般職員人件費 ②	370
		県支出金		1,530	1,530	所要人員 ③	0.05	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		1,892	1,578	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再	翌年度への繰越額					
		掲	前年度からの繰越額					
			総人件費		①	370		
	総コスト		⑥	3,478				

⑤事業の評価	【事業の成果】	<ul style="list-style-type: none"> 外国人児童生徒教育支援員による通訳、翻訳等の業務は、必要不可欠になってきており、保護者との関係構築などにおいても重要な役割を担っている。 中学校において放課後補充学習なども含めた教科学習への支援により進路指導の充実が図れるようになった。 亀山国際交流の会との連携により、子どもたちの学習支援が地域においても進んだ。 	総合判定	B
				まずまず進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	<ul style="list-style-type: none"> 通訳・相談員が派遣されていない中国語等を母語とする児童も編入してきている。平成26年度は中国語対応の通訳・相談員について、臨時に派遣して対応したが、通訳・相談員が派遣されていない言語を母語とする児童生徒保護者への対応が課題となってきている。 限られた財政の中で、支援員が各校を巡回するため、各校のニーズにすべて答えるのが難しくなってきている。
	【改善の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 通訳・相談員が派遣されていない言語を母語とする児童生徒保護者への対応するためにも、今後も通訳・相談員の確保や各校との連携を進めていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘
--------------	---------	----------------------